学校給食共同調理場の規模縮小を

南雲　鋭一　議員

議員　学校給食調理場は自校方式との思いから政策転換を求めたが平成21・22年度と共同調理場方式の予算が成立、平成22年度予算では市民との合意形成を求め附帯決議が付されたがどのように対応しているか、旧市町村に出向いて積極的に説明会を開催しては。橋を渡らず配送ができ自校方式に近い調理場となるように規模の縮小を行うよう求めます。

教育部副部長　子育連やPTA連合理事会等で市の整備方針を説明し、今後も市民への説明に努めます。また、主要な橋を利用しての配送は朝夕の通勤通学の混雑時の利用はしませんので問題はないと考えています。市としては安全でおいしい給食を提供するためには、地元の安全な食材の提供が必要であり、農協を含めた食材の提供を今後も検討していきます。

議員　来年本市で取り組む「花と緑のぐんまづくり」はどのような方式で進めるのか。

市長提唱の花のまちづくり構想と連動はあるのか。県、前橋市の赤城山開発で赤城山の観光客を本市へ誘客するために大間々上白井線の道路整備が重要と思われる。対応の考えは。

建設部長　県が組織する花と緑のぐんまづくり推進協議会が事業主体となり、市と任務分担をし進めます。

市長　県が推進する赤城山振興のため、この道路整備も前向きに進められることになり、私の提唱する「一年中どこに行っても花のあるまちづくり」を目指す第一歩としたいと思います。

学校給食調理場（北橋中学校）

瀧沢遺跡から発掘された展示物（赤城歴史資料館）

赤城地区の諸課題について

望月　昭治　議員

議員　瀧沢石器時代遺跡の発掘調査を行い、発掘された環状列石や住居跡をそのまま見せられないか。

教育部副部長　現地説明会を開いて公開したいと考えます。国の史跡ですので埋め戻して、その上に環状列石を復元する計画です。

議員　遊歩道や管理棟の建設など、今後の整備計画は。

教育部副部長　平成24年度に整備の実施計画を策定しますので、遊歩道や管理棟はその中で検討します。

議員　主要地方道、大間々上白井線の整備については、市長に現地を確認してもらっているが、その後の市の対応は。

建設部長　管理者である群馬県に整備の延伸を要望したところ、平成23年度から工事着手すると回答をいただきました。

議員　土地改良事業に伴う横野地区の3カ所の住宅団地用地と溝呂木地区の公園用地の今後の開発計画は。

経済部長　平成22年度に事業終了予定、24年度までに買収し総合計画主要事業として25年度に整備予定です。

議員　赤城町敷島・中郷間の橋りょう整備の地元説明会で反対者がいたと聞いているが、その内容と対応は。

建設部長　整備の必要性について質問があり、地元要望で整備計画が位置づけられたことを説明し、ご理解をいただきました。

議員　橋りょう整備の事業期間は平成26年までと聞いているが、もっと短縮できないか。

建設部長　河川内の工事等で工期が必要です。今後の作業や関係協議を踏まえ、短縮を検討します。

全国市議会議長会から 8人が永年在職議員表彰

6月10日、6月定例会の初日、永年在職議員として全国市議会議長会から受賞された8議員に、本会議場において表彰状の伝達が行われました。各議員は、それぞれ10年以上の永きにわたり市政発展のために尽くされ、その功績が認められたものです。今後も、一層の活躍が期待されます。

35年特別表彰
新井　晟久
議員

35年特別表彰
板倉　和男
議員

15年表彰
大島　勝昭
議員

15年表彰
小林　雅夫
議員

15年表彰（在職26年）
石倉　一夫
議員

10年表彰（在職16年）
望月　昭治
議員

10年表彰（在職16年）
都丸　政行
議員

10年表彰（在職17年）
埴田彦一郎
議員

※合併前の町村議員の在職年数は２分の１で計算されています。

議会往来

4月

▽20日　静岡県掛川市議会が視察来庁

▽26日　山口県周南市議会が視察来庁

5月

▽10日　群馬県玉村町議会が視察来庁

▽18日　茨城県守谷市議会が視察来庁

▽18日　群馬県玉村町議会が視察来庁

▽20日　神奈川県二宮町議会が視察来庁

▽24日～25日　議会報編集委員会が山形県鶴岡市へ行政視察

▽28日　千葉県我孫子市議会が視察来庁

6月

▽28日～30日　市民経済常任委員会が北海道稚内市・旭川市へ行政視察

7月

▽6日～8日　建設水道常任委員会が北海道千歳市・小樽市へ行政視察

▽13日　京都府宇治市議会が視察来庁

議会報編集委員会 山形県鶴岡市を視察

議会報編集委員会では、5月24日から25日の日程で、山形県鶴岡市に行政視察を行いました。

「つるおか市議会だより」は昭和52年5月、旧鶴岡市で創刊、平成17年10月1日、平成の大合併により、新鶴岡市が誕生、現在では、A4判、5段組、16ページ、2色刷りで発行されています。

昭和60年4月から総括質問・一般質問に議員の氏名を掲載、さらに平成3年7月には議員の顔写真を掲載しています。質疑・答弁形式を多用した紙面構成や答弁者の役職名の記載なども特徴として挙げられます。

編集委員の任期も渋川市では1年ですが、鶴岡市は2年となっています。

なお、鶴岡市では合併以降、議会のインターネット配信を行っており、生中継と録画再生で視聴できます。